

第1回山形県地域医療対策協議会 議事要旨

1 日 時 令和元年7月30日（火）14時00分～15時25分

2 場 所 県庁2階 講堂

3 出席者

一委員（五十音順）一

会長	吉村美栄子	山形県知事
委員	阿彦忠之	山形県健康福祉部医療統括監
委員	安藤常浩	社会医療法人みゆき会みゆき会病院長
委員	石井政次	山形済生病院長
委員	大串雅俊	米沢市立病院長
委員	大澤賢史	山形県病院事業管理者
委員	尾野恭一	秋田大学医学部長
委員	鎌塚栄一郎	北村山公立病院長
委員	神村裕子	山形県医師会副会長
委員	川並透	国立病院機構山形病院長
委員	後藤康夫	寒河江市立病院長
委員	佐藤俊浩	最上町立最上病院長
委員	島貫隆夫	（地独）山形県・酒田市病院機構日本海総合病院長
委員	鈴木聡	鶴岡市立荘内病院長
委員	高橋一二三	白鷹町立病院長
委員	竹石恭知	福島県立医科大学医学部長
委員	武田弘明	山形県立中央病院長
委員	土田正剛	山形県市長会長（東根市長）
委員	中目千之	山形県医師会長
委員	根本建二	山形大学医学部附属病院長
委員	八戸茂美	山形県立新庄病院長
委員	林雅弘	公立置賜総合病院長
委員	原田眞樹	山形県町村会長（庄内町長）
委員	平川秀紀	山形市立病院済生館長
委員	深瀬和利	山形県立河北病院長
委員	八重樫伸生	東北大学医学部長
委員	山下英俊	山形大学医学部長

―事務局―

玉木健康福祉部長、泉健康福祉部次長、酒井地域医療対策課長、各総合支庁保健企画課長 他

4 議題

医師確保計画に関する事項

5 議事概要

○ 医師の配置について

- ・ 地域枠を含む医師の配置については、様々な要素がある中で公平・公正に行うべき。
- ・ 特に子育て世代などの女性医師に配慮して配置すべき。
- ・ 医師の育成にも配慮した配置とすべき。
- ・ 一部の二次医療圏に集中している診療科もあるため、診療科の偏在に加えて、二次医療圏の中における地域の偏在についても考慮すべき。
- ・ キャリアパスに配慮した配置にすべき。県と大学が連携をとり、よい指導医を育成してほしい。

○ 医師の配置に係る地域医療対策協議会と蔵王協議会の関係について

- ・ 医師派遣について山形大学医学部・蔵王協議会をうまく活用すべき。
- ・ 地域医療対策協議会と蔵王協議会がコミュニケーションをとり、多くの医師が山形に残るようにしてほしい。
- ・ 地域医療をもっとも考えているのは大学の臨床の教授であり、全ての情報がそこに集まる。これをうまく利用すべきであるため、蔵王協議会を最大限利用し、政策に活かすべき。

○ 修学資金貸与医師について

- ・ 修学資金を借りていると、へき地勤務義務があるため、大学で研修できる年数が2～3年に限られることから、長期的にみると県の医療の質の低下を招きかねないのではないか。専門性のある医師の育成について考えていく必要がある。
- ・ 専門医の取得と、義務年限の消化の両立については、医師一人ひとりを見ている人が調整しないと難しい。

○ 山形大学の臨時定員について

- ・ 山形県は医師の数が非常に少ない中で、医師が、何らかの動機づけで地域と関係し愛着を持って勤務してもらえれば、地域にとってもありがたいし、幸せなことである。そういった観点でいえば、山形大学医学部の臨時定員の削減について、果たしてこれでよいのか。

以上